

## 28.【熊本市】 熊本県熊本市 都市計画事業 鶯川第2排水区雨水管渠築造工事（1期工事）

### 〈試行工事概要〉

工期	R5.8.16～R7.3.14
試行期間	R5.11.18～R7.3.14
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中大口径 推進工法 L=200m</li> <li>・ ボックスカルバート工 L=56m</li> </ul>
発注者	熊本市
受注者	大日本土木・大政建設建設工事共同体

### 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ 現場クラウドOne  「配信」 ・ 現場クラウドOne	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬液注入工の材料確認</li> <li>・ ライナープレート式土留工の材料確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルノギスを使用することで目盛りの判読を容易にした。</li> <li>・ 施工者側は、ノイズキャンセリング機能付Bluetoothイヤホンを使用することで周辺の雑音や会話阻害防止策を行った。</li> </ul>

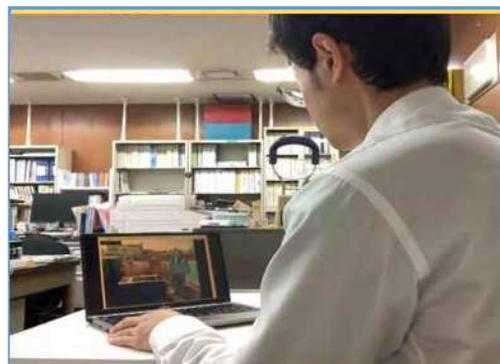


【立会状況（現場側）】



計測値のデジタル化

【工夫が分かる写真（機器、方法など）】



【立会状況（監督側）】



若手の人材育成に活用

【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

### 〈現場の声〉

#### ●施工者（受注者）

##### 〈効果〉

- ・ 発注者の移動時間を省略できることから、発注者との日程調整が容易になった。
- ・ 保存した映像を共有できるので若手の研修目的や人材育成に繋がった。

##### 〈課題〉

- ・ 機器に不慣れな技術者への研修会やサポートを構築する必要がある。
- ・ 計測中の画像や音声にタイムラグがあり、現地立会より時間を要することがあった。

#### ●監督員（発注者）

##### 〈効果〉

- ・ 現場と庁舎間の移動時間を省略し、他の業務時間を確保することができた。

##### 〈課題〉

- ・ 映像や音声に遅延が発生し、現地立会より時間を要することがあった。

## 29.【沖縄総合事務局】沖縄県

## 令和5年度管内非常用発電設備設置工事

### 〈試行工事概要〉

工期	R5.6.30～R5.12.28
試行期間	R5.11.1～R5.12.28
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電装置（7.5KVA）更新1台</li> <li>・発電装置（1.2KVA）更新1台</li> <li>・電力引込ルート変更（架空配線、建柱2本）</li> </ul>
発注者	北部ダム統合管理事務所
受注者	パイオニア電設(株)

### 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録(撮影)」 ・ i-pad  「配信」 ・ ASPer Live	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発電装置の材料確認</li> <li>・ ケーブル類の材料確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ i-padカメラを使用し機器の寸法、銘版の確認及び材料の仕様等分かりやすく接写した。</li> </ul>



【立会状況（現場側）】



【立会状況（現場側）】

### 〈現場の声〉

#### ●施工者（受注者）

##### 〈効果〉

- ・ 複数の現場で使用する材料の確認がヤードでまとめて行えるため、材料確認の準備が迅速に行える。（時間の無駄がない）
- ・ 材料確認をヤードで行うため、確認場所選定や工程調整が容易である。

##### 〈課題〉

- ・ 撮影者と測定者で最低2名いないと対応できない。
- ・ 材料確認中に通信状態が悪くなり何度か測定をやり直した。

#### ●監督員（発注者）

##### 〈効果〉

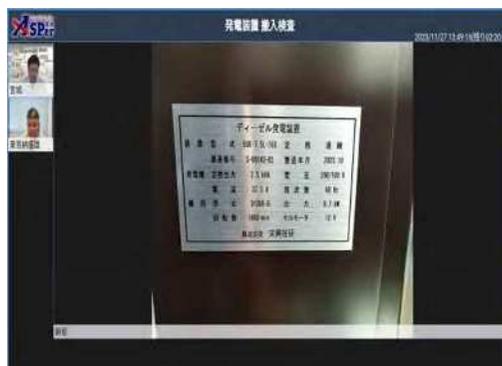
- ・ 施工箇所が金武ダムと福地ダムだったので各担当者が同時に搬入確認が出来たのは効率的で良い点である。
- ・ 材料確認場所までの移動時間がないので作業効率が良い。
- ・ 機器銘版の細かい文字もはっきりと認識できたので遠隔臨場のデメリットは感じなかった。

##### 〈課題〉

- ・ 通信状態によりフリーズすることがあった。改善の余地あり。



【立会状況（監督側）】



【立会状況（監督側）】

## 30.【熊本県】熊本県水俣市古里地内

## 人吉水俣線（古里）単県道路改良工事

### 〈試行工事概要〉

工期	R5.9.7～R6.3.2 2
試行期間	R5.9.7～R6.3.2 2
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工延長 L=60.6m</li> <li>・高排水性垂直擁壁 A=106m<sup>2</sup></li> <li>・ジオセルマットレス工 N=1式</li> <li>・仮設工 N=1式</li> </ul>
発注者	熊本県
受注者	株式会社 岩井建設

### 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配信」 に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・iPhone14 pro  「配信」 ・現場クラウド One	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履行状況確認</li> <li>・施工状況確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山間部で電波状況が悪いため、少しでも電波状況が良い端末で行った。</li> </ul>



【立会状況（現場側）】



【通信環境が最も良い端末を利用】



【立会状況（監督側）】

### 〈現場の声〉

#### ●施工者（受注者）

##### 〈効果〉

- ・施工状況や履行状況を写真で確認するよりも動画の方が伝わりやすい。
- ・すぐにでも返答が欲しい時に効果がある。

##### 〈課題〉

- ・今回はiPhoneを使用したがる、携帯電話であれば、手が塞がるのでヘルメットに着用できるウェアラブルカメラ等の導入が必要である。

#### ●監督員（発注者）

##### 〈効果〉

- ・現場での判断が悩ましい際に、上席の者からも即座に指示を仰ぐことが可能。
- ・官署から現場までの移動時間が皆無となり、現場からの確認依頼にもすぐに対応可能。

##### 〈課題〉

- ・通信環境が悪い現場だと映像や音声が悪くなることがある。
- ・官署側の端末の相性、仕様でこちら側の音声が届いておらず、モニターを見ながら公用電話で話すことがあった。汎用性が高いシステムが望まれる。

## 31.【大分県】大分県津久見市

## 県道佐伯津久見線道路施設修繕工事

### 〈試行工事概要〉

工期	R4.9.17～R5.7.23
試行期間	R6.5.22、R5.6.12【夜間】
工事内容 (主工種)	宮山トンネル ・トンネル照明更新 N=43台
発注者	大分県白杵土木事務所
受注者	(有)池辺電工

### 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配信」 に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット端末 ・スマートフォン 「配信」 ・Web会議システム (Zoom)	・照明取付金具のアンカー引っ張り 試験 ・照度確認	・現場の立会や段階確認等の監督行為 の負担軽減 ・特別な機器を使用せず、一般的なス マートフォンやパソコンを使用して遠 隔臨場を実施した。



【立会状況（現場側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

### 〈現場の声〉

#### ●施工者（受注者）

##### 〈効果〉

- ・現場確認の日程調整が通常の現地確認より容易にでき、急な立会等にも対応できると感じた。
- ・待機時間を短縮できた。

##### 〈課題〉

- ・通信環境を都度チェックする必要がある。
- ・遠隔臨場時の画像、音声不安定になる場合がある。



【立会状況（監督側）】



【発注者使用機器】

#### ●監督員（発注者）

##### 〈効果〉

- ・現場への夜間の往復が不要となり、業務の効率化が図れた。

##### 〈課題〉

- ・現場によっては通信状態が不安定となる場合がある。

## 32.【大分県】大分県豊後高田市

## 県道豊後高田国東線（都甲側道橋）調査設計委託

### 〈試行工事概要〉

工期	R5.12.8～R6.5.27
試行期間	R6.1.10
工事内容 (主工種)	都甲側道橋 橋梁調査 1式 橋梁補修設計 1式
発注者	大分県豊後高田土木事務所
受注者	九州建設コンサルタント(株)

### 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配信」 に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン  「配信」 Web会議システム (Zoom)	・橋梁の形状調査状況の確認	・iPad等は持ちながらの調査は、現地で邪魔となるため、スマートフォンにて実施。



### 〈現場の声〉

#### ●施工者（受注者）

##### 〈効果〉

- ・監督員を現場にて待つ時間がなくなり、調査をスムーズに行えた。
- ・後日、写真で説明するより分かりやすく、説明用資料作成の手間も省けた。

##### 〈課題〉

- ・現場によっては通信状況が悪い箇所がある可能性がある。そのために事前にテストを行うと逆に手間となる。

#### ●監督員（発注者）

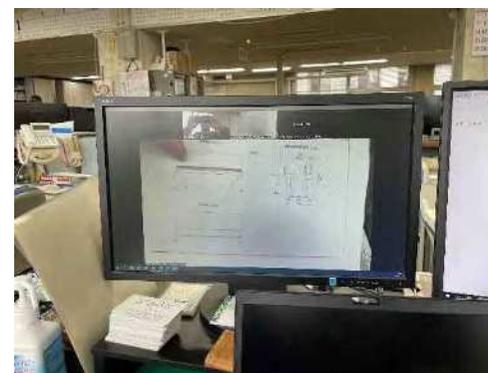
##### 〈効果〉

- ・現場までの移動時間の短縮となった。
- ・会議の間の時間で確認をすることができた。
- ・見たい箇所を指示することも出来、分かりやすかった。

##### 〈課題〉

- ・受注者側が機器に不慣れな場合は、最初は時間がかかる可能性がある。
- ・現場の通信状況によっては、実施できない現場もある。

【立会状況（現場側）スマートフォンにて実施】 【立会状況（設計側）会社でも状況確認】



【立会状況（監督側）】

【立会状況（監督側） 図面を事前に確認】

### 33.【大分県】大分県日田市

### 玖珠川泉源調査・総合評価業務委託

#### 〈試行工事概要〉

工期	R4.8.11～R6.2.16
試行期間	R5.5.25～R5.12.28
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泉源掘削調査 N = 6 箇所</li> <li>・ 泉源総合評価 N = 1 式</li> </ul>
発注者	大分県日田土木事務所
受注者	西日本技術開発(株)

#### 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ タブレット端末 (iPad mini)  「配信」 ・ Web会議システム (Zoom)	・ ボーリング調査における検尺	・ 調査業務のスムーズな作業進捗を図るため、監督員が在宅勤務時において遠隔臨場を実施 ・ 骨伝導ワイヤレスイヤホンを使用することにより、周囲の音、他の作業員の声を遮断することなく、安全に監督員とのやりとりを実施



【立会状況（現場側）】



【監督員からの指示により接写】



【立会状況（監督側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

#### 〈現場の声〉

##### ●施工者（受注者）

###### 〈効果〉

- ・ ボーリングの掘進状況により、監督員不在時や休日に段階確認を依頼しなければならないこともあるが、遠隔臨場であれば、監督員が在宅時でも段階確認が可能であるため、作業を止めることなく、遠隔な工程管理が可能であった。
- ・ 骨伝導ワイヤレスイヤホンを使用することで、他の作業員の声や、周囲の作業音などを遮断することなく監督員との会話が可能であったため、安全上も問題ないと感じた。

###### 〈課題〉

- ・ 初めての遠隔臨場であったため、機器の扱い等に少しとまどった。
- ・ 通信環境に依存する点が課題である。

##### ●監督員（発注者）

###### 〈効果〉

- ・ 現場までの移動時間に往復1時間程度要するが、遠隔臨場により移動時間、移動費、事故リスク等が低減できた。
- ・ 在宅勤務時においても可能であるため、業務の円滑な進捗に寄与した。

###### 〈課題〉

- ・ 監督員はもちろん、受注者側が機器の扱いに不慣れな場合や、遠隔臨場そのものを敬遠するケースが多いため、業界として習熟度を高めなければならない。

## 34.【鹿児島県】鹿児島県霧島市

## 通常砂防工事（妻屋谷R4-1工区）

### 〈試行工事概要〉

工期	R5.3.23～R5.11.17
試行期間	R5.7.12～R5.11.17
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掘削工 V=1,150m<sup>3</sup></li> <li>・地盤改良 V=1,600m<sup>3</sup></li> <li>・砂防堰堤 H=1.5m, L=26.4m</li> </ul>
発注者	鹿児島県
受注者	鶴丸建設(株)

### 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン (i-Phone8)  「配信」 ・遠隔臨場SiteLive ((株)建設システム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堰堤掘削後 段階確認</li> <li>・地盤改良工の施工サイクル確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工管理アプリ「快速ナビ」と3次元計測機器である自動追尾TSを用いた為、設計値・測定値をデジタル表示で確認ができ、また測定時の人員・時間を短縮した。</li> </ul>



【地盤改良立会状況（現場側）】



【出来形管理（杭ナビ測量）】

### 〈現場の声〉

#### ●施工者（受注者）

##### 〈効果〉

- ・立会の準備後、直ちに立会ができる為、施工性の向上がはかれた。
- ・遠隔臨場対応ソフトウェアを使用したため、立会の予定や記録、データの整理等が容易にできた。
- ・社内での確認や社内パトロール等にも応用が可能。

##### 〈課題〉

- ・通信電波が悪く画面がフリーズすることがあった。
- ・事前に通信会社のキャリアの電波状態を確認する必要がある。
- ・施工サイクル確認時は、重機等の音により、音声聞きづらいことがあった。

#### ●監督員（発注者）

##### 〈効果〉

- ・現場への移動時間が短縮され、業務の効率化が図れた。
- ・机上で図面や関係書類を見ながら立会できるため、現地での測定値確認がスムーズにできた。

##### 〈課題〉

- ・現場全体が写るよう撮影場所を変えたり、日陰になり画面が暗くならないよう調整する必要がある。また、確認する範囲が大きいと、画面上では見にくくなってしまふ。



【立会状況（監督側）】



【杭ナビ測量器具】

# 35.【沖縄県】沖縄県豊見城市

# 県営渡橋名団地法面対策工事

## 〈試行工事概要〉

工期	R5.9.28～R6.3.25
試行期間	R5.11.27, R5.12.11
工事内容 (主工種)	擁壁工 L=102m ・プレキャストL型擁壁 ・重力式擁壁 法枠工 L=315m ・現場吹付法枠
発注者	沖縄県施設建築課
受注者	株式会社 嶺建設

## 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・Zoom  「配信」 ・Zoom	L型擁壁製作前の工場（名護市）検査  ・配筋確認 ・生コンクリート試験 ・枠内かぶり確認 ・圧縮強度試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工状況に合わせて立会を行うことで、受注者、発注者ともに業務の効率化を図った。</li> </ul>



【枠内かぶり 立会状況（工場側）】



【配筋 立会状況（工場側）】



【圧縮強度試験 立会状況（工場側）】



【色分し視認性を向上させる工夫を行った】

## 〈現場の声〉

### ●施工者（受注者）

#### 〈効果〉

- ・ 受注者の段取りに合わせて効率的に立会を行うことができた。
- ・ 撮影した工場検査の動画を社内の若手職員等へ共有し、若手育成の教材として活用することができると感じた。

#### 〈課題〉

- ・ 工場内の場所によっては、モバイル通信の電波が届きにくい所があり、通信状況が不安定となったことから、通信設備の整備が必要だと感じた。
- ・ 型枠内の暗い場所では、目視が難しいため、照明等の工夫が必要だと感じた。

### ●監督員（発注者）

#### 〈効果〉

- ・ 遠隔臨場により工場立会が実施できたことから、工場（名護市）までの移動時間（往復2H）が削減でき、業務の効率化に繋がった。

#### 〈課題〉

- ・ 枠内かぶり確認の際には、枠内で撮影する映像が暗くなり、目視確認が難しい状況があったことから、事前に、撮影する環境を想定して、照明を用意する等の準備が必要だと感じた。

### 〈試行工事概要〉

工期	R5.6.8～R6.3.15
試行期間	R5.6.8～R6.3.15
工事内容 (主工種)	・雨水管渠（ボックスカルバート、 ヒューム管）
発注者	福岡市住宅都市局 Smart EAST基盤整備課
受注者	エトウ建設（株）

### 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配信」 に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ASP (Being Collaboration)  「配信」 ASP (Being Collaboration)	・ボックスカルバート緊張力確認	・疑問や確認事項についてすぐに声 掛けを行い、手戻りがないよう心掛 けた



【立会状況（現場側）】



【緊張力を確認（現場側）】

### 〈現場の声〉

#### ●施工者（受注者）

##### 〈効果〉

- ・立会者の移動時間の省略
- ・確認事項をビデオデータで保存・共有できる

##### 〈課題〉

- ・ソフトウェアの操作方法や、カメラワーク等に慣れる必要がある



【立会状況（監督側）】



【緊張力を確認（監督側）】

#### ●監督員（発注者）

##### 〈効果〉

- ・移動時間を省略できる

##### 〈課題〉

- ・システムや遠隔臨場のやり方に慣れる必要がある

## 〈試行工事概要〉

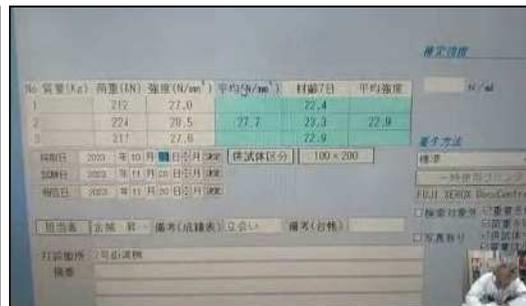
工期	R5.7.19~R6.3.25
試行期間	R6.10.23~R6.3.25
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路土工 1式</li> <li>・舗装工 A=1,390m<sup>2</sup></li> <li>・排水構造物工 1式</li> <li>・縁石工 L=373m</li> </ul>
発注者	北部国道事務所
受注者	琉球開発(株)

## 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・Gリポート 「配信」 ・Gリポート	・排水構造物のコンクリート品質確認(圧縮強度試験)	・受注者の社内品質証明員の立ち合いも発注者同様に遠隔臨場で実施した。



【立会状況(監督側)】



【立会状況(監督側)】

## 〈現場の声〉

### ●施工者(受注者)

#### 〈効果〉

- ・発注者同様に受注者の社内品質証明員の立ち合いを遠隔臨場で実施したため、移動時間の削減となった。
- ・今後、可能な限り遠隔臨場を現場にて活用したい。

#### 〈課題〉

- ・特になし



【立会状況(監督側)】



【立会状況(受注者側:社内品質証明員)】

### ●監督員(発注者)

#### 〈効果〉

- ・移動時間の削減(生コン工場が施工現場より遠い場合はさらなる移動時間の削減となる。)
- ・圧縮強度試験の立会については、遠隔臨場で十分対応可能と考える。
- ・工場の屋内における臨場であり電波状況による障害は発生しなかった。

#### 〈課題〉

- ・生コン工場の立地条件によっては、電波状況による影響が懸念される。

# 38.【九州地方整備局】熊本県阿蘇郡南阿蘇村 令和3年度 立野ダム貯水地流木捕捉施設設置工事

## 〈試行工事概要〉

工期	R3.1.20~R4.5.19
試行期間	R3.1.20~R4.5.19
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床掘 (ICT) 8,820m<sup>3</sup></li> <li>・流木捕捉施設工 基礎部 一式</li> <li>・流木捕捉施設工 止め部 一式</li> </ul>
事務所	九州地方整備局 立野ダム工事事務所
受注者	株式会社 明興建設

## 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン  「配信」 ・Microsoft Teams	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土質の変化時 (岩盤面の確認)</li> <li>・材料の確認 (鋼材等)</li> <li>・流木捕捉施設工 コンクリート (埋戻し前)</li> <li>・立会 (未確認の構造物、施工不能箇所の確認)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山間部の谷間で電波が悪く、通常のポケットWi-Fiでは電波が途切れる為、外部アンテナ付の100V電源を利用したWi-Fiを利用し実施した。</li> <li>・Microsoft Teamsにて遠隔臨場を行うことで複数人での立会を可能とした。</li> </ul>



【立会状況 (現場側)】



【外部アンテナ付のWi-Fi】

## 〈現場の声〉

### ●施工者 (受注者)

#### 〈効果〉

- ・急な立会時 (転石の確認、未確認支障物の確認) に電話後確認していただくことが出来た。
- ・床掘完了時の土質を複数 (立会者+コンサル+監督官など) の方で確認することが出来た。
- ・電波状況により画像が固まる、途切れる等の不具合を解消することができた。

#### 〈課題〉

- ・現場側が複数人の場合、スピーカーで音声を流すため音声が聞き取りづらい



【立会状況 (監督側)】



【監督職員側のディスプレイ】

### ●監督員 (発注者)

#### 〈効果〉

- ・事務所にいながら立会可能であり、監督業務の負担軽減となった。
- ・設計コンサルの意見が必要な場合にスムーズなやりとりが可能となり業務負担軽減となった。

#### 〈課題〉

- ・地質状況確認などには、鮮明な画像が必要。

## 〈試行工事概要〉

工期	R5.3.30～R5.11.1
試行期間	R5.8.16
工事内容 (主工種)	国道326号 橋梁補修工事 三国峠橋 橋長 L=142.0m 橋面防水工 A=131m <sup>2</sup> 伸縮継手工 L=11.3m ひび割れ補修工 L=654.9m 表面含浸工 A=374m <sup>2</sup>
発注者	大分県佐伯土木事務所
受注者	(株)小野明組

## 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット端末 (Lenovo Tab)  「配信」 ・Web会議システム (Zoom)	・足場撤去前の出来形の確認 (遠隔臨場による中間検査[試行])	・山中のため、事前に通信確認した。

## 〈現場の声〉

### ●施工者（受注者）

#### 〈効果〉

- ・事務所と現場までの移動時間の短縮となった。
- ・現場条件（閉所や高所の確認しづらい場所）や気象条件（雨風で管理図等の記入がしづらい場合）によっては遠隔臨場のほうが便利なこともあると感じた。

#### 〈課題〉

- ・吊足場のように狭く、ライトを必要とする場所では、うまく表示（撮影）することが、困難であった。携帯電話（スマートフォン）などで撮影すると良いと思われる。
- ・別の立会で実施した際はタブレットからの音声が聞き取りにくかったため、今回はイヤホンマイクを装着したが、現場サイドは一人しか音声が指示を聞けないのが少しやりづらかった。
- ・画面が途中から真っ暗になった。（日なたと日陰の往来によるものと思われる）

### ●監督員（発注者）

#### 〈効果〉

- ・現場までの移動時間の短縮となった。（片道1時間）

#### 〈課題〉

- ・数値の検測は、現場の静止技量にもよるが、検測は確認可能であったが、表面含浸工の撥水状況の確認は見えづらかった。工種によっては、ICT検査の実施の可否を判断する必要がある。



【立会状況（現場側）】



【立会状況（現場側）】



【確認画面（検査員・監督員側）】



【立会状況（検査員・監督員側）】

# 40.【大分県】大分県竹田市

# 県道神原玉来線道路改良工事（オンライン検査）

## 〈試行工事概要〉

工期	R4.4.21～R5.12.28
試行期間	R5.8.30
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長 L=240.9m</li> <li>・幅員 W=6.0(9.75)m</li> <li>・路床安定処理 A=2,060m<sup>2</sup></li> <li>・下層路盤 A=1,860m<sup>2</sup></li> </ul>
発注者	大分県竹田土木事務所
受注者	(株)友繁建設

## 〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット端末 (iPad)  「配信」 ・Web会議システム (Zoom)	・舗装工事（他業者）に着手する前の下層路盤の中間検査	・現場でモバイルWifiの通信環境に問題がないことを事前に確認



【立会状況（現場側）】



## 〈現場の声〉

### ●施工者（受注者）

#### 〈効果〉

- ・現場での待ち時間の縮減

#### 〈課題〉

- ・通信環境が悪い場合や機器の故障等のトラブルが発生した際に後工事への影響が懸念されることから、代替機器の準備や事前の通信環境の確認が必要

### ●監督員・検査員（発注者）

#### 〈効果〉

- ・本課検査員の現場までの移動時間の削減
- ・検査に必要な時間が短縮されることから、急な天候悪化や工程遅延等に伴う検査延期への対応が容易

#### 〈課題〉

- ・プルーフローリング試験や出来ばえ等の数値に寄らない検査は現場への的確な指示が必要
- ・強風時に音声が届かないことが多かったため、通話環境の良い機器の配備が必要
- ・グレアによる視認性の低下等、現場の確認がし難いことがあるため、機器を持つ監督員の配慮が必要



【確認状況（検査員側）】

